

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ハナソラ		公表日		令和8年 3月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動室、面談室、トイレ、洗面所等必要なスペースを確保できており、利用者の状況に応じて部屋を選択している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に応じた職員の配置を行っており、必ずではないが同性での介助を行っている。	男性職員の確保に努めたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動の場は全てバリアフリーでになっており、学習する場、遊ぶ場所等はテープを貼り見える化を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃、消毒等を行っている。壁面には利用者が制作した四季折々の作品などを装飾を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者が使用目的、必要に応じて部屋を選択し使用できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に会議を行い、問題解決や業務改善に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員全体で確認を行い、定期的に業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議を行う場合は全員が意見を言いやすい環境を設け、業務改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後実施できるように検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修及び社外研修の機会を確保を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページに公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントをもとに、個々のニーズに合わせて計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画書の作成際には職員全体で検討し作成に取り組んでいる。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有を行い、計画に沿って支援を行い、改善すべきことがあれば会議などを検討を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日常生活の中で利用者の行動や等を観察しながら、個々の興味関心があることを把握し、話を聞くなど確認を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		自立するために必要なスキルをみにつけること、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携を踏まえ、個別支援計画に沿った課題設定を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月スタッフ間で計画を立てている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		新しい課題や月ごとの行事での制作、外活動など考慮し固定化されないようにしている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別指導では学習や興味関心をもてるように、集団生活では協調性や自己表現などを身に付けれるように計画、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前や利用者到着前に必ず一日の流れをスタッフ間で確認し支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日の振り返りが出来ない場合もあるが支援記録や必ず情報共有すべきことは共有ノートに記載し全員が目を通すようにしている。	毎日支援後の振り替え入りができるように時間を設けたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		提供時間、支援内容やその日の様子などを記録をし、定期的に課題や計画を見直し改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回モニタリングを行い、個別支援計画を作成を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		運動、創作活動、イベント事では近くの施設やお店を訪問し地域との交流を図っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動時に自己選択ができるように促しや、選択肢を設け自己決定ができるように支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		定期的に関係機関と会議を行い、利用者の情報共有を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在は該当する利用者がいません。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校主催の連絡会や説明会に参加し、情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			低学年の利用者に対して、今後連携をとり支援していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現在該当する児童がいないが、該当児童がいる場合は移行支援会議などに参加したいと思う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後は各関係機関と連携を図り、研修を受ける機会を増やしていきたいと思う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			長期休暇期間で地域児童との関われる活動の場を設けたいと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今後は各関係機関と連携を図り、研修を受ける機会を増やしていきたいと思う。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳を用いて児童の現状や課題について伝え共通理解を取っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家庭と事業者で連携した支援を目標を立て、子供への役割、接し方について共有している。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に運営規定、支援内容、利用者負担等について説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者との面談を行い、利用者や保護者のニーズの把握と今後の方向性を確認し、普段の	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		5領域に沿った計画書を作成したのち、支援内容を示しながら説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や連絡帳を通し家族からの悩みを相談に応じており、必要な場合は面談等を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等の開催を行っていないが必要な場合は保護者同士が交流できる機会を設けていきたいと思う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口を契約時に案内しており、苦情があった場合は迅速に対応できるようにしている。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月通信を配布あり、活動内容等はホームページに記載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報記載されている書類は鍵付きの棚に保管し、破棄する場合はシュレッダーで破棄している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		指差しての選別、絵カードでの選別等個々の利用者に応じて意思疎通を行っている。保護者へは連絡帳、メール、ラインを用いて連絡をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		夏祭りやハロウィン等地域住民を招待したり、各店舗や施設と交流できる活動を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、研修を定期的に行っている。活動室に掲示、送迎車内にも設置し緊急時でも対応できるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を作成し、定期的に災害避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬、予防接種に関することは保護者から連絡を受け、てんかん発作があった場合はマニュアルを作成し周知徹底している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	アレルギーの有無に関しては保護者よりアセスメント表で依頼し、スタッフ間で情報共有を行い、おやつや食事を提供している。	食物アレルギーが利用者に対しては医師の指示書の提出を依頼を行いたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルを作成し、研修を定期的に行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時の対応、連絡方法については契約時に保護者に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生時は報告書を作成し、情報共有・ミーティングなどを行い、対策の検討・再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを作成し、研修を定期的に行っている。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	○		虐待防止委員会を設け定期的に会議を行い、スタッフ間で周知徹底している。	
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		自傷行為を止める場合、他者に危害を与えようとする場合等、やむを得ない場合に行うことは保護者へ説明し、記載している。	